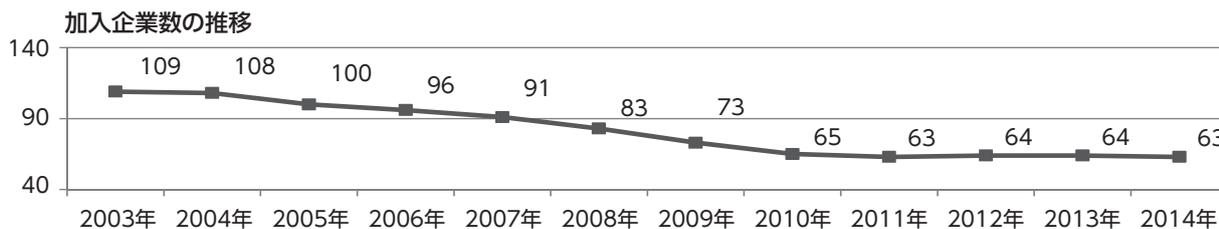


## 近畿複写産業協同組合が ビジョンを作成しました

近畿複写産業協同組合（楠本雅一理事長）では、平成26年度 大阪府組合等事業向上支援事業「ビジョン・中期計画作成支援」を活用して、本ビジョン策定に至りました。

### 1. 組合の現状

複写業界の変遷に伴い、組合への加入企業もピーク時の150社から、63社に減少しています。



複写業界では、ジアゾ終焉を受けて、従来事業は衰退しているものの、技術発展に伴い、PODという新市場があります。

協同組合運営という面では、メーカー各社の支援などのネットワーク力がある一方で、組合と組合員企業間での情報共有の不足や、組合活動に参加しない会員企業の存在などの問題があります。

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<ul style="list-style-type: none"><li>● 大手事務機メーカーが支援してくれている。</li><li>● 会員企業はこれまでの事業運営を通じて、多様な見込客リストを保有している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 組合と組合員企業間で情報共有の不足がある。</li><li>● 親世代が組合から離れているため、息子世代が組合活動に出てきていない。</li><li>● 属人的な運営となっている面がある。</li></ul>
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<ul style="list-style-type: none"><li>● 技術発展に伴い、POD(PrintOnDemand) という新市場がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ジアゾ終焉を受けて、従来の複写事業が衰退している。</li></ul>

### 2. 組合としての課題認識

組合としては、以下を課題として認識しています。

#### 〈課題認識〉

- ジアゾ終焉に伴う新市場としてのPOD市場の創造と拡大
- 後継者教育・次世代教育

本計画書作成に際しては、以下の事項を課題と考えました。

#### 〈本計画書作成における課題認識〉

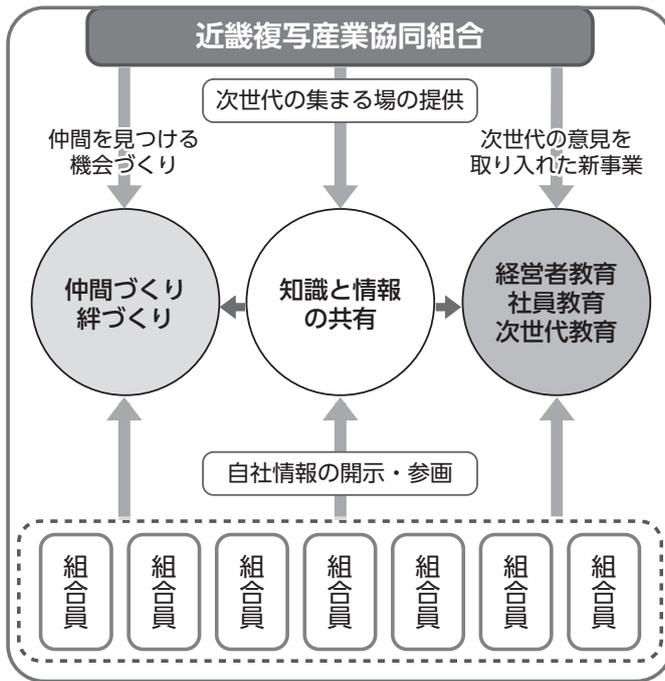
- 協同組合が目指している旗が見えなければならない。協同組合という場の価値の再定義が必要である。
- 今の時代にふさわしいメッセージを作って、組合の若い人たちの魂に訴えられるように発信していきたい。
- 若い人たちからのメッセージを引き出したい。

### 3. 組合の役割とは

今後の組合には、以下の3つの役割を期待しています。

1. 仲間づくり・絆づくり
2. 知識と情報の共有
3. 経営者教育・社員教育・次世代教育

その実現のためには、組合員である自分たち自身もできることがあるのではないかと考えています。

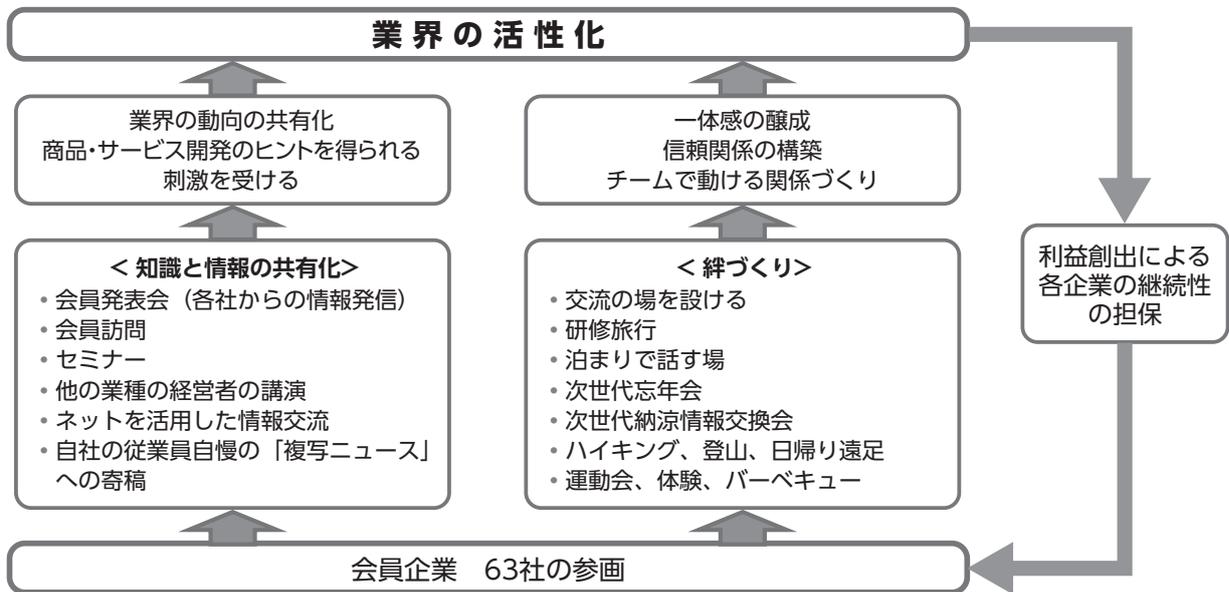


私たちはこのように考えました。

- これまで組合が果たしてきた役割**
- 多様な意味での“場の価値”の提供
  - 人間関係をつくれる場・人とのつながり
  - 横のつながりの強化によって仕事の対応への助けを得る
  - 情報の提供
  - メーカーとの接点の提供
- 今後の組合に期待する役割**
- 場を求めてきた人に情報を提供する
  - **知識と情報の共有**
  - 経営者教育・社員教育・次世代への教育
  - 経済的利害から**知識共創**へ
  - 信用できる**仲間づくり**
  - 強い**絆づくり**
  - 従来型事業のPDCAを回しながら、質を高める。
- 今後期待する役割実現のために自分たちができること**
- 未来最適の仮説立案と実行
  - 仲間を見つける機会づくり
  - 次世代が集まる場の提供
  - 次世代の意見を取り入れた新しい事業
  - 距離を縮める活動
  - 自社情報の開示

#### 4. 将来の価値創造プロセス

今後の組合は、会員企業間の絆づくりと知識と情報の共有化を通じて、商品・サービス開発のヒントを得られる場としての機能を果たし、会員企業間の信頼関係の構築、ひいては、業界活性化を目指して活動していきたいと考えています。



#### 5. 価値実現のためのロードマップ

前項で策定した将来の価値実現に向けては、東京オリンピックが開催される2020年を一つの区切りとして、「次世代の会員が業界内に相談できる仲間のネットワークを構築している」ことを目指します。

具体的な活動については、今後、企画の見直し、再検討を行い、具体化させていきたいと考えています。

